

		社会人リカレント教育 履修モデル *文化人類学の場合	人間文化分野 履修モデル *日本歴史文化論の場合	言語文化分野 履修モデル *英米コミュニケーション論の場合	博士課程進学 履修モデル *人間存在論の場合		
<p>活躍が期待される進路</p>		<p>▶原職復帰 ▶キャリアアップ ▶ジョブチェンジ</p>	<p>地域文化の振興に係わる ▶公務員・企業人等</p>	<p>外国語運用能力等に係る 業務・職務に携わる ▶公務員・企業人等</p>	<p>▶博士課程進学者</p>		
授与される学位		修士(人文学)	修士(人文学)	修士(人文学)	修士(人文学)	修了要件(修得単位)	
修了審査		公開成果発表会・審査・最終試験(口頭試問を含む)				単位	30以上
研究指導		リサーチペーパー	修士論文	修士論文	修士論文	単位	4
6	<p>研究指導 各分野の深い知識と探究力・実践力を活かし、研究成果をまとめる。</p>	★人間文化研究指導 1・2	★人間文化研究指導 1・2	★言語文化研究指導 1・2	★人間文化研究指導 1・2	2	4
5	<p>キャリア形成科目 高度な専門知識を活かして社会で働くことの意義、専門知識の実践的な展開について学ぶ。</p>	<p>★文化人類学研究演習 ★社会人間論研究演習 ★社会文化論研究演習</p>	<p>◆インターンシップ ★日本歴史文化論研究演習 ★日本歴史交流論研究演習 ★アジア社会史研究演習</p>	<p>◆インターンシップ ★英米コミュニケーション論研究演習 ★英語動態論研究演習 ★英語習得論研究演習</p>	<p>★人間存在論研究演習 ★倫理思想史研究演習 ★ヨーロッパ歴史文化論研究演習</p> <p>※博士課程進学のため、専門分野を中心とした専門科目を履修し、高度な専門的知識及び研究能力の獲得を目指す。</p>	2	21 他コース・他専攻科目は5単位まで充て可能
4	<p>専門科目(演習系) 各分野の専門知識を実践し、探究力・実践力を身に付ける。</p>	<p>◆文化人類学研究 ◆社会人間論研究 ◆社会文化論研究</p>	<p>◆日本歴史文化論研究 ◆日本歴史交流論研究 ◆アジア社会史研究</p>	<p>◆英米コミュニケーション論研究 ◆英語動態論研究 ◆英語習得論研究</p>	<p>◆人間存在論研究 ◆倫理思想史研究 ◆ヨーロッパ歴史文化論研究</p>		
3	<p>専門科目(講義系) 各分野の修得に必要な専門知識を深める。</p>						
2	<p>専攻基礎科目 法文学専攻における学究の基礎を身に付ける。</p>	★法文学研究基礎 ★プロフェッショナル・リサーチ&ライティング				1	2
1	<p>研究科基礎科目 人文社会科学研究科に必要な基礎的な知識等を身に付ける。</p>	●人文社会科学総合(法学) ●人文社会科学総合(人文学) ●人文社会科学総合(地域産業社会) ●研究フィールド実践				1	3